



橋本健一郎氏

心部で三日、テロ事件発生、

七人死亡、四八人が負傷。

六月のFOMCで政策金利

を○・二五%引き上げ年一・

〇〇・一・二五%に決定、さらにFRBの保有

資産を圧縮する具体策を約三年ぶりに改定、な

どのマイナス材料もあったが、フリー・ポート社が

運営するインドネシアのグラハベルグ鉱山では長

引くストの影響で採鉱、製錬量が減少して

ることを明らかにした事。中国政府発表の五月の

製造業PMIは前月比変わらずの五一・二、予

想は五一・〇。非製造業PMIは五四・五に上

昇―を好感しLME銅相場はUP、六月十五

日時点で五、六八四・五セツルと月初価格よ

り六九ドルUPの前半締めとなつた

後半は、IMFは二〇一七年の米経済成長

率予測を二・一%と四月時点の二・三%から〇・

二ポイント下方修正。二〇一八年の成長率予測

は二・一%と前回の二・五%から〇・四ポイント

引き下げ。トランプ政権が掲げていた大型減税、

インフラ支出拡大は困難とみてこの想定を予測

から除外した。イングランド銀行のハルデン理

事、今年下半期の利上げを支持する公算が大

きいとの認識を示すなどのマイナス材料もあった

が、中国国有の送電線大手、国家電網の事業

入札が五月に増えたこと、銅の供給サイドでは

鉱山スト、銅スクラップの輸入減(中国)によ

り総体的に精鍊銅供給は減る、との予測もあ

り、相場を下支え。ここにきてアルゴノートセキユ

リティーズ、ソシエテエヌラルなどアナリストは

銅の見通しを明るく見ており、との報を好感し

LME銅相場はUP、七月四日現在、後半ス

タート価格から二二・二ドルUPの五、八九四ド

ル。銅建値七一円万のスタート。

◆月間のドル/円レート(NTS)

一一一・七三→一一三・一〇(円)。

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると、自動車生産台数は

前年比五・五%増の六九万三、〇二三台であつた。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、自動車

販売台数(軽除く)は前年比九・七%増の三一萬

五、七四四台。

◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は

前年比〇・三%減の七万八、四八一戸であつた。

## 自動車生産・販売増、住宅着工は微減

橋本金属 橋本健一郎氏リポート①

・アルミ

### ◆貿易関連指標

## 電気銅は輸出減、輸入は増加

六月前半は、ロンドン中

### ◆概況

財務省貿易統計によると、輸出は前年比で電気銅が一七・四%減の三万九、六七七t、スクランプが三七・一%増の二万二、六三九t。

輸入は電気銅が前年比六二・四%増の三、四一五t、スクランプが〇・四%減の一萬一、一三五t。

■前月の国内指標  
日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前年比六・五%増の六万六、三八一t。輸出は三三万〇、二五五台で前年同月比五・八%の増加。日本電線工業会発表の出荷速報(推定)によると、銅電線出荷量は前年比三%増の五万〇、七〇〇tであった。

### 【自動車販売】

五月の四輪車生産台数は六九万三、〇二三台で前年同月比五・五%増となり、八カ月連続で前年同月を上回った。

輸出は三三万〇、二五五台で前年同月比五・八%の増加。

### 【住宅着工数】

六月の国内自動車販売台数(軽は除く)は三一万五、七四四台で前年比九・七%増と、一一方月連続プラス。

このうち、乗用車一〇・三%増、貨物五・六%増、バス一二・八%増。

平成二十九年五月の住宅着工戸数は七万八、四八一戸で、前年同月比〇・三%減となつた。また、季節調整済年率換算値では九九・八万戸(前月比〇・六%減)となつた。  
・住宅着工の動向については、前年同月比で三カ月ぶりの減少となつており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家は増、分譲住宅は減となつた。

・引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある

(持家)

前年同月比では二カ月連続の増加(前年同月比一・六%増、季節調整値の前月比では一・九%増)。

前年同月比では一九カ月連続の増加(前年同月比一・六%増、季節調整値の前月比では一・九%増)。

(貸家)

# 今月の焦点は中国の経済対策など

(四面より続く)

(分譲住宅)

前年同月比では先月の増加から再びの減少  
(前年同月比三・九%減、季節調整値の前月比  
では五・七%減)。

・分譲マンション

前年同月比では先月の増加から再びの減少  
(前年同月比一二・六%減)。

・分譲一戸建住宅

前年同月比では一九力月連続の増加 (前年  
同月比四・五%増)。

(伸銅品生産)

伸銅品生産は前年比六・五%増の六万六、三  
八一tと、一〇力月連続増加。このうち、内  
需五万五、一四三tで六・九%増と一〇力月連  
続プラス、輸出一萬一、二三八tで四・五%  
増と、七力月連続プラス。品種別では、銅条  
二万一、一一四tで一〇・七%増と一三力月連  
続プラス、黄銅棒一万五、六〇四tで五%増  
と、一三力月連続プラス。

(電線)

前年比三%増の五万〇、七〇〇t。このうち、  
国内三・二%増、輸出が五・四%減。出  
荷部門別では、通信一七%増、電力〇・六%  
減、電気機械〇・八%減、自動車一〇・三%  
増、建設・電販二%増、その他内需一五・一  
%増。

(輸出) 電気銅輸出が一七・四%減の三万  
九、六七七t、銅スクランプは三七・一%増  
の二万二、六三九t。

(輸入) 電気銅が六二・四%増の三、四一五  
t、スクランプは〇・四%減の一萬一、一三五t。  
【見通し】

・自動車は生産が五・五%増。国内販売台  
数が前年比九・七%増。生産が八力月連続ブ  
ラス、販売も一力月連続プラス。生産、販  
売共に増加しており今後も期待。

・住宅着工の動向については、前年同月  
比で〇・三%減と前月の微増から再び微減に  
なつており、下げる傾向かどうか今後の  
の動向に注目。

・伸銅品は一〇力月連続プラスの前年比  
六・五%増。需要の多い銅条が一三力月連続  
プラス。黄銅棒も一三力月連続プラス、輸  
出七力月連続プラス。今後も期待。

・電線は前年比三%増の五万〇、七〇〇  
t。このうち、輸出が五・四%減と大幅減。  
出荷部門別では、需要の多い自動車、建設電  
線がそれ一〇・三%増、二%増。全体と

して回復傾向。

・銅輸出は、内需用途から地金は減少。ス  
クラップはメーカーの買い控え傾向から増  
加。

・銅輸入は地金は四月の円高時の地金の入  
港から増加、スクラップは変わらず。

【スクランプ需給予想】

流通在庫は、生産が好調なこと、七月の銅  
建値が二万アップの七一万円スタートだっ  
たことから出てくるのではないか?

需要面に関しては、住宅で底入れ、自動車  
の生産販売は好調であるが、LME在庫の  
急増、やメーカーが地金を優先に使用して  
いることから需給は緩むのではないか?

【価格・為替予想】

今は中国秋の指導部交代に向けての經  
済対策、オバマケア代替法案審議を含む米  
議会の懶れの動向に左右される。

秋の中国指導部交代に関しては、金融引  
き締めの緩和や新たな送電線計画が発表さ  
れるなど、経済の安定をねらった政策が今  
後も発表されるのではないか?

米議会に関しては、経済界には辺りがい  
いものの、肝心の白人中間層のトランプ政  
策離が進んでおり、一層ねじれが進むの  
ではないか?

それらを踏まえた七月の銅価格は、指導  
部交代に向けた景気対策が新たに発表され、  
オバマケア代替法案が議会を通過した場合、  
六月一段高値の六、〇〇〇ドルを予測。い  
ずれかの場合は五、八〇〇ドル。

下値はいずれの条件も達成できなかつた  
場合、五月一段安値の五、五〇〇ドル。  
為替は、NYダウの高値更新と英國の  
ユーロ離脱関連に左右される。

NYダウは好調な米経済を受けて、今月  
はさらに高値更新するのではないか? 英国  
の離脱関連はそろそろ現実味を帯びた発表  
がなされており、ユーロ安ドル高がすすむ  
のでは?

それらを踏まえ予測は、NYダウが最高  
値を更新し英國のユーロ離脱関連でマイナ  
ス材料がなかつた場合、高値は六月後半高  
値一段高の一〇円台(TTM)を予測。い  
ずれも行わぬなかつた場合、同安値の一  
四円台を予測。

銅建値に関しては六五〇・七三〇円程度  
と予測している。